



▲参加した営農者は各地での取り組みを発表しました

「いやしの宿いいたて」で、村農業委員と避難先で営農する皆さんとが意見交換会を開きました。参加した14人の営農者はそれぞれの経緯を発表。福島市で花を作る一人は「周りに励まされ始めた。がんばりたい」と話していました。その後は今後の見通しや課題についても多くの情報交換が行われました。

2月の主なできごとと村の動き

- 1日・深谷行政区除染同意取得説明会（飯野出張所）
- 2日・根本匠復興大臣の来庁（飯野出張所）
- 4日・比曾行政区除染説明会（飯野出張所）
- 5日・新まていな村構想推進準備委員会 第1分科会（飯野出張所）
- 7日・新まていな村構想推進準備委員会 第3分科会（飯野出張所）
- 7・8日・村議会広報編集委員会（宮城県美里町）
- 8日・新まていな村構想推進準備委員会 第2分科会（飯野出張所）
- 10日・「第9回The楽市inかぬま」への出展（栃木県鹿沼市）
- 14日・第1回飯館村防災会議（飯野出張所）
- 15日・第5回新まていな村構想推進準備委員会（飯野出張所）
- 15日・村耕作放棄地対策協議会第1回臨時総会（飯野出張所）
- 17日・上飯樋行政区除染同意取得説明会（飯野出張所）
- 19日・子ども議会（飯野出張所）
- 20日・村議会原子力発電所事故災害復興対策特別委員会 国要望望活動（東京都）
- 20日・第3回飯館村まていな除染会議（飯野出張所）
- 21日・村議会原子力発電所事故災害復興対策特別委員会（飯野出張所）
- 22日・平成25年第2回農業委員会定例総会（いやしの宿いいたて）
- 22日・避難先営農者と農業委員との意見交換会（いやしの宿いいたて）
- 22日・第2回飯館村防災会議（飯野出張所）
- 23日・平成24年度家族介護者交流事業（福島県男女共生センター・陽日の郷あづま館）
- 24日・いいたて村民ふれあい集会（パルセいいざか）
- 27日・第6回新まていな村構想推進準備委員会（福島市・ホテルグリーンパレス）
- 28日・第11回いいたてまでいな復興計画推進委員会 答申（福島市・ホテルグリーンパレス）
- 28日・いいの&いいたて交流ポッチャ大会（飯野学習センター）

広報いいたて2月号15ページに記載の1月30日・経済産業副大臣の来庁（飯野出張所）は中止になりました。訂正いたします。

「住まいの耐震博覧会」
見学バスツアーで東京へ



▲抜けるような青空の下、浅草寺の境内にて

松川第一・第二応急仮設住宅を建設した住宅メーカーの招待により、住民有志が「住まいの耐震博覧会」見学バスツアーに参加。東京ビッグサイトで博覧会を観覧し、浅草観光を楽しみました。浅草では、浅草寺や仲見世通りを散策して、冬晴れの東京で1日を過ごしました。

心をこめて作りました
2つの中学校をつなぐ旗

アーティストで東京藝術大学教授の日比野克彦さんを講師に飯館中学校で「マッチフラッグプロジェクト」が行われました。交流する岐阜県の各務原市立中央中学校と、互いの校歌の歌詞の文字をデザインして旗を作り交換するものです。生徒たちは布や和紙を使い、村の自然や文字のイメージをモチーフにして、発想豊かに旗を作り上げました。

▶オオカミと大根とへびでデザインした「中」



畑の食材を温かな料理で

村社会福祉協議会によるお茶飲み会が保原中央公民館で開かれ伊達方部の借り上げ住宅に避難する皆さんが集いました。昼食には、村の「食を考える会」が、伊達市内の畑で有志が作った野菜を使い、団子汁や里芋のおはぎ等を準備。参加者は温かな昼食を味わいながら、会話をはずませていました。



▲館内の調理室で準備する「食を考える会」の皆さん



▶あちこちのテーブルで楽しげな笑い声が

小学生と過ごしたふれあいの時間

草野・飯樋・白石小学校の5年生が、福祉体験として松川第一・第二応急仮設住宅を訪れ、住民とふれあいました。小学生は2つの集会所に分かれて合奏や合唱を披露し、準備してきたお手玉・あやとり・輪投げ・福笑い・けん玉等の昔遊びを一緒に楽しみ、笑顔のひとつときを過ごしました。

▶松川第二仮設で。「あやとりを教えてもらって分かったところがありません」

